

新年度予算は住民負担の軽減とくらし応援に

アンケートにご協力
ありがとうございました



住民の声をもとに 日本共産党町議団が申し入れ やつお春雄・山田みつよ

日本共産党町議団は、町民アンケートを全戸配布し、住民のみなさんの声や要望を聞かせていただいています。物価高騰が暮らしの困難に拍車をかけています。中間集約を行い、アンケートから見えてきたくらしの要望をまとめ、住民の負担軽減に町が力を尽くすよう、町長(右端)に申し入れをしました。(2月16日)。

子育て応援

- 子どもの医療費は完全無料に
- 学校給食は無料に
- いじめ、不登校問題の対策

高齢者・障がい者支援

- 介護保険料・利用料の引き下げ
- 年金の引き上げ
- 特別養護老人ホーム・高齢者施設の充実

町政で力を入れて欲しいこと

- 国民健康保険税や水道料金引き下げなど
- 道路や河川の整備、災害対策
- 教員の増員など教育行政の充実



住民の願いを実現できる財源はあります

広陵町は2022(R4)年度決算で30億円の積立金、18億円の財政調整基金があります。これらのお金を活用すること。税金の使い方を見直し、新年度は町民の負担を軽減する対策を講じるよう、求めました

町に届けた声

(一部)

住民から寄せられた声を届けました。緊急を要するものはじめ、実情をつかんですぐに改善されるよう求めました

香芝市は2人目の保育料が無料。広陵でも取り組んでほしい。3人目が熱が出ると仕事に行けず、パート代も入らない。なんのために働いているのかわからない

大学生の奨学金の援助を。結婚に前向きになれる

西小、生徒が増えすぎて先生の負担が大変。学校を分散するか先生の負担軽減を

ゴミの分別が大変。高齢者になると分け方がむづかしい。プラスチック、容器プラとその他プラが特に大変 分けなくてもいい自治体があるがその理由は?

夏に子どもが熱中症になった時、横峯公園のベンチがなく困った

災害対策の重視を。住んでいる地域の備蓄庫に何も入っていないとびっくりした

年寄りが安心して暮らせる老人ホームをたくさん作ってほしい。子どもに負担をかけたくない

自転車道の抜本的整備が必要。高田から法隆寺は、とても車道は通れない。道路の凸凹で危険

生産額はともかく戸数から広陵町の大きな産業は農業。今後10年20年農家の将来をどうするのか。今から考えなければ耕作放棄地だらけになる

下水道の引き上げ納得できない。理由が不明。必要性が感じられない

60歳でリタイアして20年ほど仕事に就けずにいた。高齢者の仕事を作らないとますます人手不足になる

農家が多かったので男性中心社会の弊害多く、いまだに女性(嫁)は悔しい思いをしている。女性の地位向上に向けた取り組みを



ゴミ袋が高すぎる

本腰を入れて少子化対策の長期目標を作ってほしい。岸田総理はダメ

80代半ばも過ぎ、いちいちスマホや電話が面倒。1日1便でも前のような元気号を走らせてほしい

親が病気の時、子どもを保育園まで送り迎えしてくれるサポートがあったらいい

公民館の洋式トイレの増設。高齢者は本当に不自由しています

広陵民報

日本共産党の政策を紹介します
2024年3月号外

発行：日本共産党広陵支部 連絡先は下記
やつお春雄 広陵町馬見北5丁目10-17 ☎60-0972
Email: snkb30217@hera.eonet.ne.jp
山田みつよ 広陵町三吉1713 ☎090-3972-5674
Email: mitsuyo.yamada22@kcn.jp